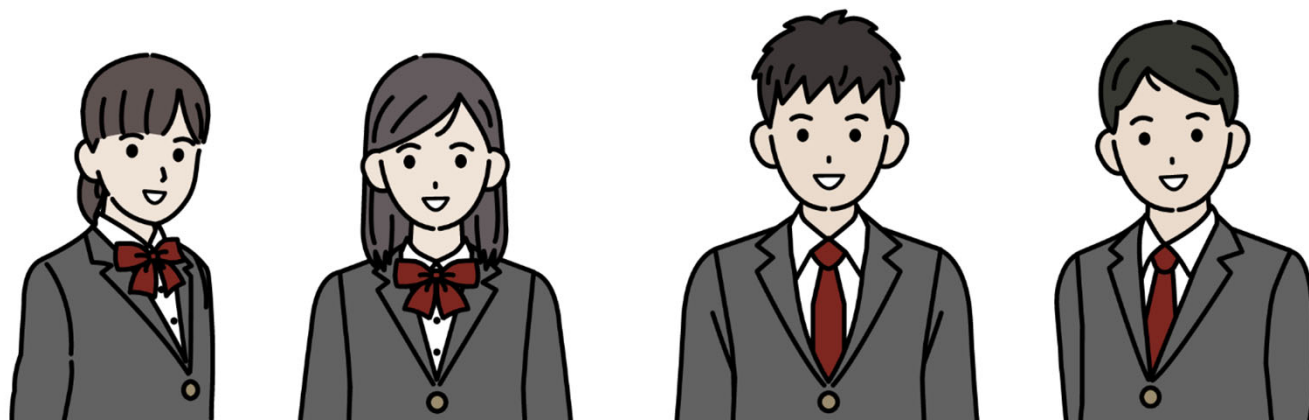


地域における子ども・若者議会の 展開と持続可能性について

～宮城県柴田町・山形県遊佐町・愛知県新城市
の先進事例を通じて～



2026年3月19日（木）

公益財団法人 東北活性化研究センター

1. 調査の目的① ～なぜいま「若者参画」なのか～

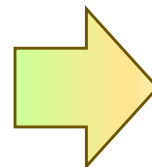
人口減少や少子高齢化、若者の地方からの流出が進む中、若者自らが課題を見つけ、主体的にまちづくりに関わる「子ども・若者議会」の取り組みが注目されている。

調査の目的



地域課題の発見と対話

学校教育と連携し、日常生活の中から地域の課題を自分事として見つけ出します。



地元就職・定着とUターンの拡大

地元就職・定着とUターンの拡大

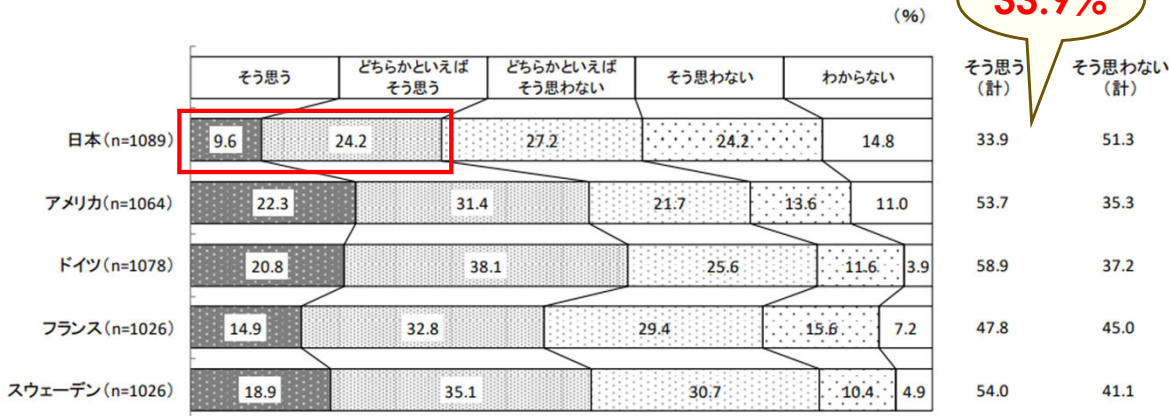
地域との絆が、将来的な地元就職や、一度離れた後のUターンを後押しします。

1. 調査の目的② ～自信を失っている日本の若者たち～

こども家庭庁や内閣府の調査によれば、「将来の国や地域の担い手として政策決定に参加したい」「自分の行動で国や社会を変えられると思う」と答えた若者の比率は、調査対象国の中で最低水準にとどまり、日本の若者の無力感や諦めが浮き彫りになっている。

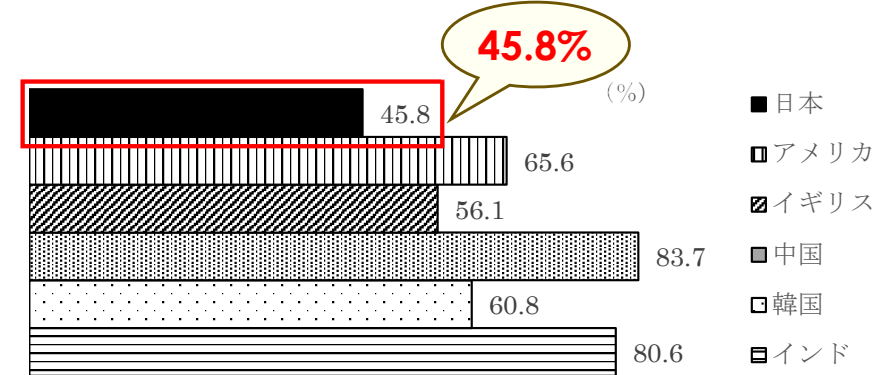
政策決定過程への関与に関する意識

将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい



自身と社会の関わりに関する意識

自分の行動で国や社会を変えられると思う



(出典) こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査」(令和5年度)

(出典) 日本財団18歳意識調査「第62回 国や社会に対する意識(6カ国調査)」報告書(2024年4月)



地域の危機の本質は若者の無力感にあり!

2. 「若者議会」とは何か ～制度の現在地～

若者議会とは、自治体などが設置する、中高生から20代を中心とする若者が主体的に地域の課題を議論し、政策提案を行う仕組みである。ただし、**条例や要綱を設置する自治体はまだ少ない。**

子ども・若者議会の分類



子ども・若者議会条例・要綱を設置する自治体

出典:早稲田大学卯月盛夫研究室・NPO法人わかもののみち
「子ども議会・若者議会 自治体調査 報告書」

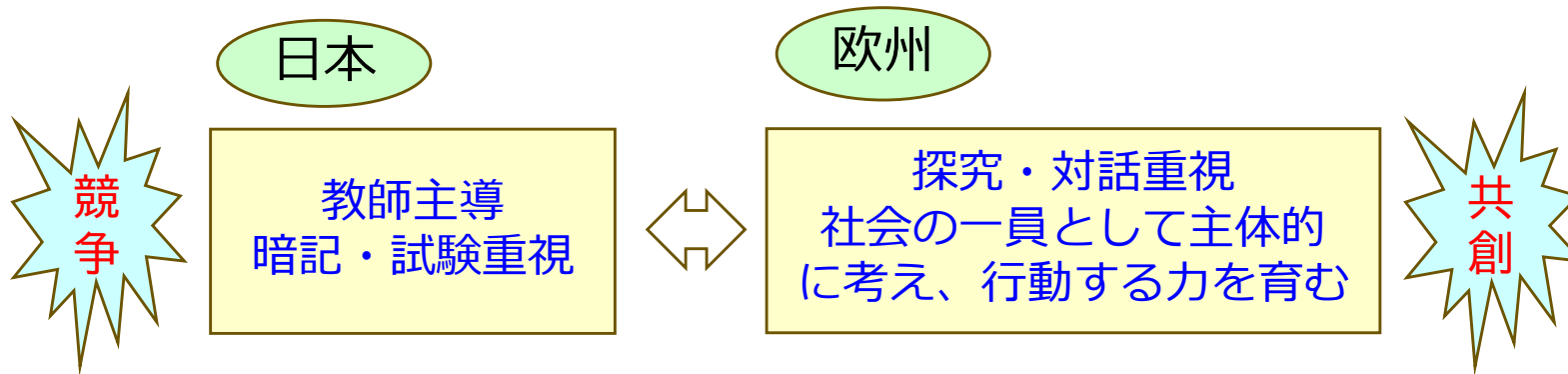
設置自治体数	構成比 (%)	条例		要綱	
		設置自治体数	構成比 (%)	設置自治体数	構成比 (%)
133	18.4%	19	2.6%	114	15.8%



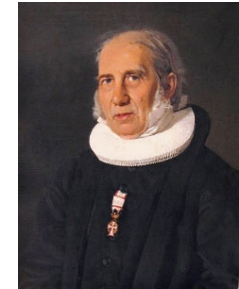
3. 欧州における主権者教育と子ども・若者議会の動向

欧州では教育が暗記・試験重視から探究・対話重視に移行しつつある。社会の一員として主体的に考え、行動する力が実践的な子ども・若者議会につながっている。

欧州と日本の教育



ニコライ・フレデリク・セヴェリン・グルントヴィ



出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

フランス子ども議会の様子

出典:<https://eduscol.education.fr/3310/le-parlement-des-enfants>



4. 国内先進事例

国内でも先進的な子ども・若者議会の取り組みを実施している宮城県柴田町子ども議会は学校教育との緊密な連携、山形県遊佐町少年議会は若者主体の政策決定参画、愛知県新城市若者議会は条例化による継続的運営が特徴。

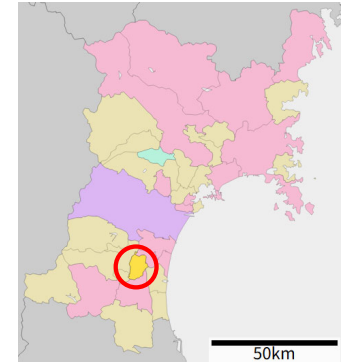


ヒアリング対象自治体の子ども・若者議会の概要

	宮城県柴田町 子ども議会	山形県遊佐町 少年議会	愛知県新城市 若者議会
人口 (2025年12月)	3.6万人	1.1万人	4.1万人
開始年度	2002年度	2003年度	2015年度
対象	小学6年生(町内6校輪番)	在住の中高校生及び通学する高校生による選挙	在住、在学又は在勤する16歳から29歳までから公募
構成	議長、副議長、議員8名	少年町長1名、少年議員10名	議長、副議長を含む20名
主な活動 と予算	行政への意見表明 実施予算は既存の教育費	行政への意見表明 45万円の独自予算	1,000万円の予算提案権 参加時3,000円の報酬支給
主な特徴	学校教育との緊密な連携	若者主体の政策決定参画	条例化による継続的運営

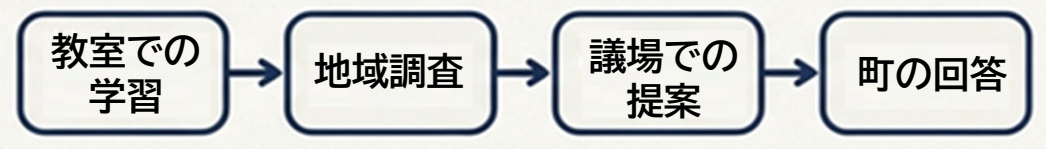
4-1. 柴田町(宮城県) 子ども議会 :シティズンシップを育む「教育直結型」

柴田町子ども議会は、小学6年生が本議会の議場で町長や教育長に質問や提案を行う。答弁は町の担当課が準備し、形式は実際の議会と同様である。



柴田町子ども議会の特徴

現行の教育システムをうまく活かし、
子どもが実社会に入っていくための
ガイドの役割を果たす



令和6年度 柴田町こども議会

出典: 柴田町
より受領



議会で発言するのは緊張したけれど楽しかった

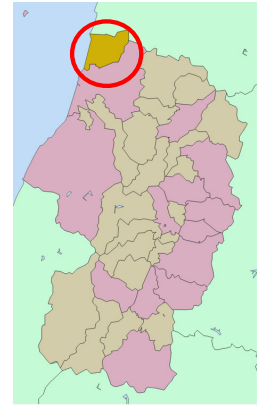
子ども議会の提案により実現した主な施策

- ✓ インバウンド観光客へのおもてなし強化を目的に、外国語指導助手 (ALT) を3名から4名へ増員
- ✓ イノシシ被害対策の防護柵を設置
- ✓ アスレチック施設「わくわくランド」を整備
- ✓ 小学校の遊具を新設・更新



4-2. 遊佐町(山形県) 少年議会：若者を信頼して任せる「自主性重視型」

遊佐町少年議会では、町在住の中高校生および通学する高校生を対象とした選挙で、少年町長と少年議員が選出される。少年議員たちは「全員協議会」で議論を重ね、町政に対する質問を行うとともに、自らの政策提案を発表する。



50km

遊佐町少年議会の特徴

行政職員は基本的にアドバイスや提案を行わず、まちづくりを担う一員として信頼して検討を任せる

令和7年度 第2回少年議会



図書館にフリーWi-Fiを設置してください

少年議会の提案により実現した主な施策

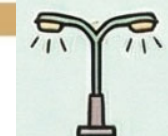
(独自予算で実施)

- ✓ JR東日本への通学時間帯におけるダイヤ見直し要望
- ✓ 観光パンフレット作成
- ✓ 町キャラクター「米～ちゃん」の募集・選考



(本予算で実施)

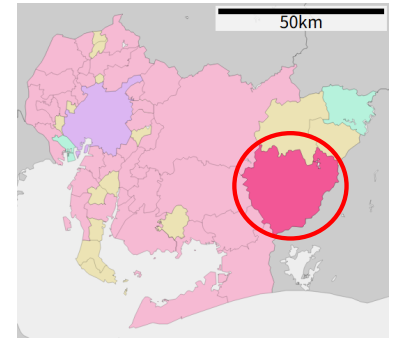
- ✓ 町内の街灯設置



出典: 東北活性化研究センター撮影

4-3. 新城市(愛知県) 若者議会：メンターと施策を磨き上げる「条例設置型」

新城市は「若者条例」および「若者議会条例」にもとづき、事業を実施している。若者議会は最大1,000万円の予算提案権を持ち、若者議員はメンターと行政職員に相談しながら、自ら政策を立案し、市長に答申する。





新城市若者議会の特徴

条例にもとづき若者が参画する制度が
確立し、メンターや行政職員と議論を
通じ実行可能な段階まで施策を
ブラッシュアップ



若者議会の提案により実現した主な施策

- ✓ 新城図書館のリノベーション 
- ✓ まちなみ情報センターのリノベーション
- ✓ 防災意識向上プロジェクト
- ✓ 市内就職支援事業
- ✓ 外国人交流イベント
- ✓ 観光コンテンツ開発
- ✓ 新城市趣味活サイトの創設
- ✓ プレコンセプションケア教育の推進 

若者議会 全体会議 (2025年10月)



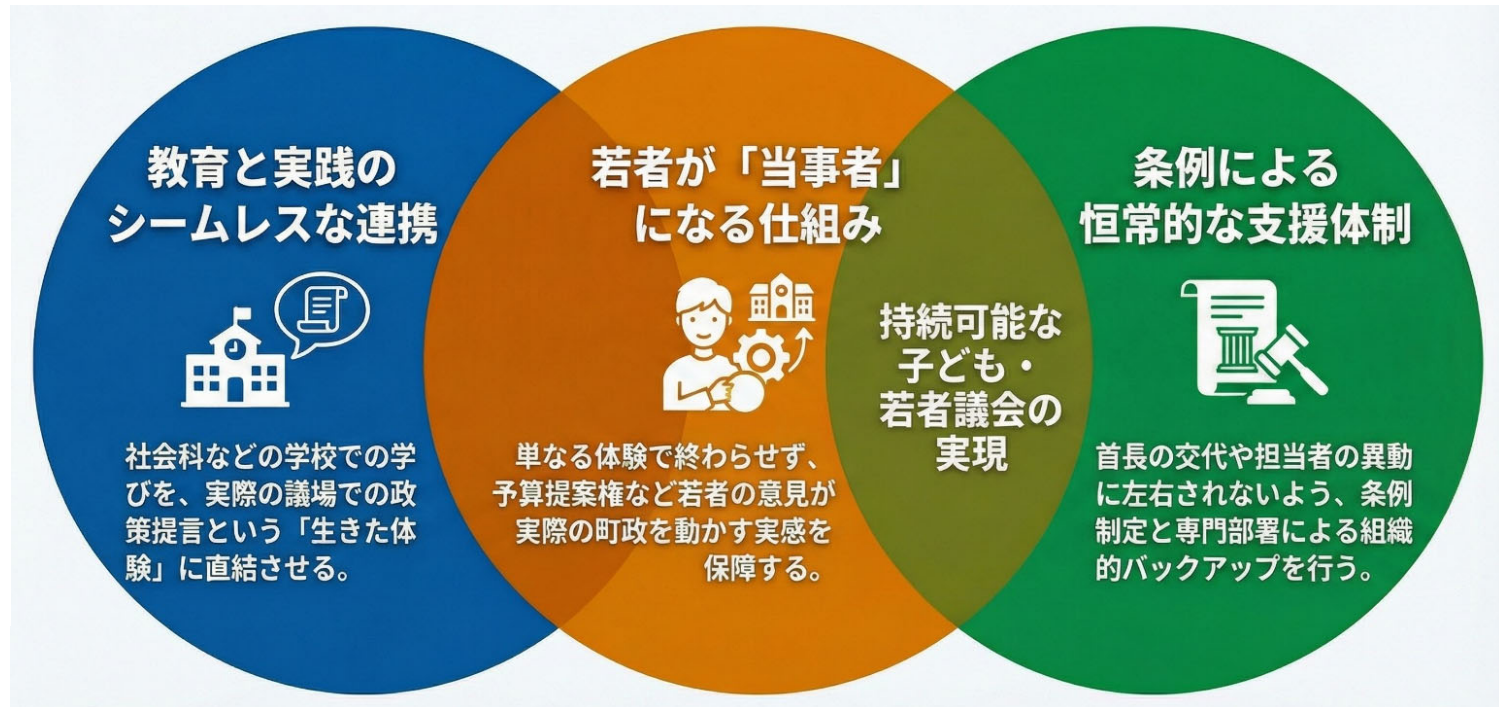
少しでも市を良くしたい一心で
取り組んでいる

出典: 東北活性化
研究センター撮影

5. 子ども・若者議会の持続可能性を高める3つの要素

3自治体への調査から①学校教育との連携が十分であること（柴田町）、②若者が政策形成の過程に主体的に関わっていること（遊佐町）、③制度的な基盤と支援体制が整っていること（新城市）の3点が重要なカギであることが明らかになった。

先進自治体に学ぶ成功のカギ



代表的自治体

宮城県柴田町
子ども議会

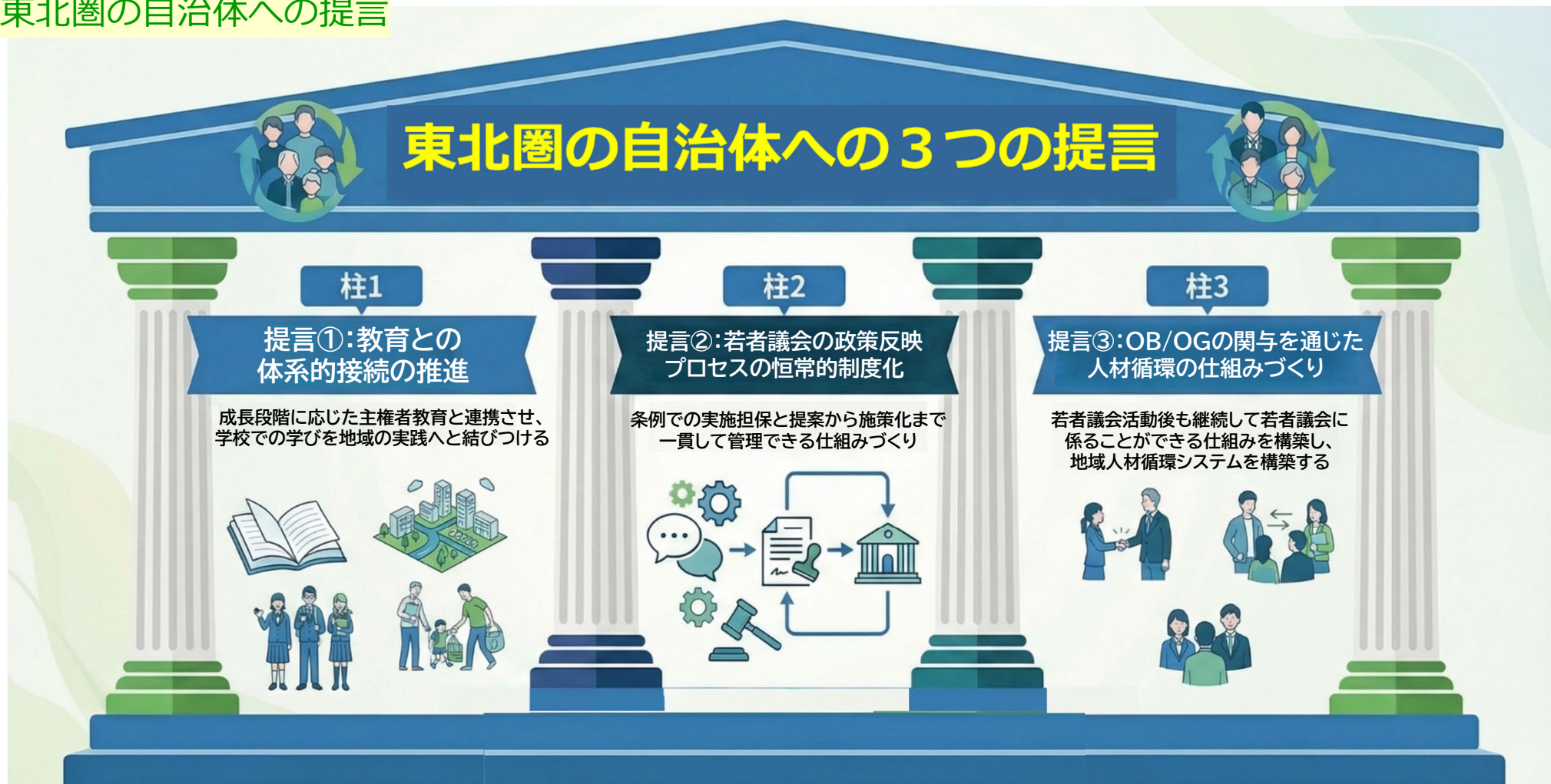
山形県遊佐町
少年議会

愛知県新城市
若者議会

6. 東北圏の自治体への提言①

ヒアリング結果を踏まえ、①教育との体系的接続の推進、②若者議会の政策反映プロセスの恒常的制度化、③OB/OGの関与を通じた人材循環の仕組みづくりの3つを提言したい。

東北圏の自治体への提言



6. 東北圏の自治体への提言②

提言を具現化するため、特に東北圏の自治体に対し、人材育成と地域づくりを一体的に推進する共創プラットフォーム「**地域人材循環型子ども・若者議会モデル**」の構築を提案したい。

地域人材循環型子ども・若者議会 (イメージ図)

